

授業科目名	社会福祉現場実習指導	担当教員名	入江 実
必修/選択	選択	開講学年・学期	1/2年 期間（年間開講数 1講座）
科目区分	その他の資格取得科目	単位数	2単位（時間）
施行規則に定める科目区分 等		授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の到達目標	(1)現場実習の意義について理解する。 (2)現場実習を通じて、これまでに学んだ知識、技術等を具体的かつ実際に理解する。 (3)学習した成果を応用し、実践的な技術等を体得する。 (4)福祉専門職としての自覚を持ち、専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等総合的に対応できる能力を取得する。 (1)現場体験を通じて社会福祉主事として仕事をする上で必要な知識、援助技術の内容の理解を深める。 (2)講義、演習、学校内実習で学んだ知識に基づいて利用者との人間的関わりを深め、利用者が求めている社会福祉の需要に関する理解力、判断力を養う。 (3)社会福祉の知識や技術を実査に活用し、援助業務に必要な資質、能力、技術を取得する。 (4)職業倫理を身につけ、福祉専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。 (5)関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を理解する。		
授業の概要	社会福祉施設実習（1年次春季）の事前指導を1年後期に、事後指導を2年前期に行う。また、機関実習（2年次夏季）の事前指導を2年前期に、事後指導を2年後期（別途設定）に行う。社会福祉援助技術論の教科書等を活用し、社会福祉の知識・技術を体得していく。 ※上記の演習に加えて、実習先のオリエンテーション、研修等（総計90時間）に参加する必要がある。		
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著		
参考書・参考資料等	指定せず		
成績評価の方法	出席状況と授業の取り組み姿勢、提出物の内容等により総合的に評価		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	実習指導のすすめ方	(1)	
第2回	学習 社会福祉援助技術の背景 (1)個別化	(3)	
第3回	学習 社会福祉援助技術の背景 (2)統制された情緒的関与	(3)	
第4回	学習 社会福祉援助技術の背景 (3)意図的な感情表現	(3)	
第5回	学習 社会福祉援助技術の背景 (4)受容	(3)	
第6回	学習 社会福祉援助技術の背景 (5)非審判的態度	(3)	
第7回	学習 社会福祉援助技術の背景 (6)自己決定	(3)	
第8回	学習 社会福祉援助技術の背景 (7)秘密保持	(3)	
第9回	社会福祉施設事前指導①	(3)	
第10回	社会福祉施設事前指導②	(2)	
第11回	社会福祉施設事前指導③	(2)	
第12回	社会福祉施設事前指導④	(2)	
第13回	社会福祉施設事前指導⑤	(2)	
第14回	社会福祉施設事前指導⑥	(2)	
第15回	全体のまとめ	(4)	
定期試験	定期試験は実施しない		

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第16回	実習指導の進め方	(1)
第17回	社会福祉施設事後指導①	(2)
第18回	社会福祉施設事後指導②	(2)
第19回	社会福祉施設事後指導③	(2)
第20回	社会福祉施設事後指導④	(2)
第21回	学習 社会福祉援助の過程 インターク（受付面接）	(3)
第22回	学習 社会福祉援助の過程 社会調査（アセスメント）	(3)
第23回	学習 社会福祉援助の過程 社会診断	(3)
第24回	学習 社会福祉援助の過程 社会実践	(3)
第25回	学習 社会福祉援助の過程 社会評価	(3)
第26回	機関実習事前指導①	(2)
第27回	機関実習事前指導②	(2)
第28回	機関実習事前指導③	(2)
第29回	機関実習事前指導④	(2)
第30回	全体まとめ	(4)
定期試験	定期試験は実施しない	